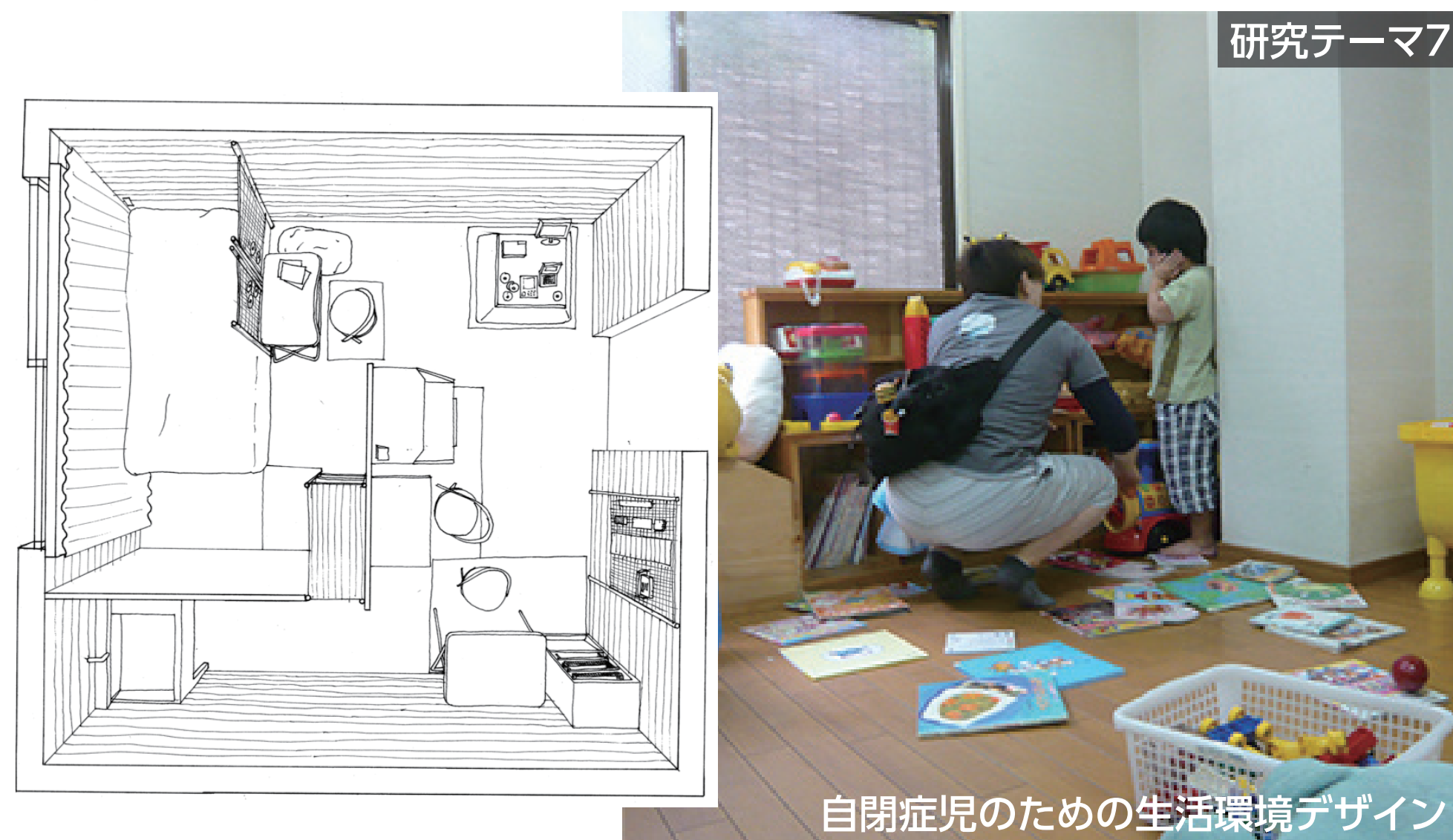
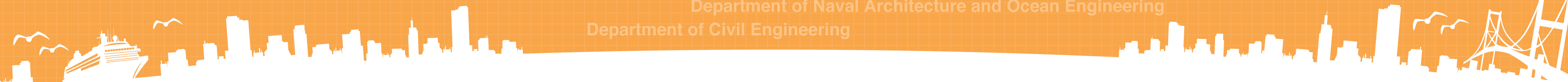


# 建築工学コース



研究テーマ7

自閉症児のための生活環境デザイン

大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 建築・都市デザイン学講座

## 建築・都市計画論領域

### INTRODUCTION

建築・都市空間を人間・環境系として捉え、現実の建築・地域・都市をフィールドとして、社会文化的・生態学的・場所論・環境認知などの総合的視点から調査研究を行い、新たな計画・デザイン論を構築することを目指している。また、近年の大災害への対応については、人口減少時代における建築・都市・集落の再編のあり方が問われていると受け止め、南海トラフ地震に備えた計画系研究プラットフォームを構築し、大阪湾ベイエリアと太平洋(和歌山・三重・徳島)をフィールドとした研究ネットワークを形成していく。



研究テーマ3

漁村集落のデザインサーベイ

模型製作による環境造形の評価

古民家のリノベーション

### 研究テーマ7

インクルージョンの理念の元、高齢者・障害児者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境をつくることを目標に、住宅・施設・地域のつながりに注目し、フィールド調査を行っている。最近では発達障害児(特に自閉症)の生活環境の支援が不足しているので発達障害児を対象にした調査を行っている。

### 研究テーマ4

建築家の作品の変遷からデザイン手法や都市空間における複雑な構築要素を分析を行い構築・デザイン手法の確立へ向けた研究を行っている。また、アフォーダンス理論の建築デザインへの応用や知覚・認知に基づく空間デザインの研究など、理論研究の分野も行っている。



ブダペスト Jewish Quarteにおける調査と提言

プラハ 都市の空隙の調査

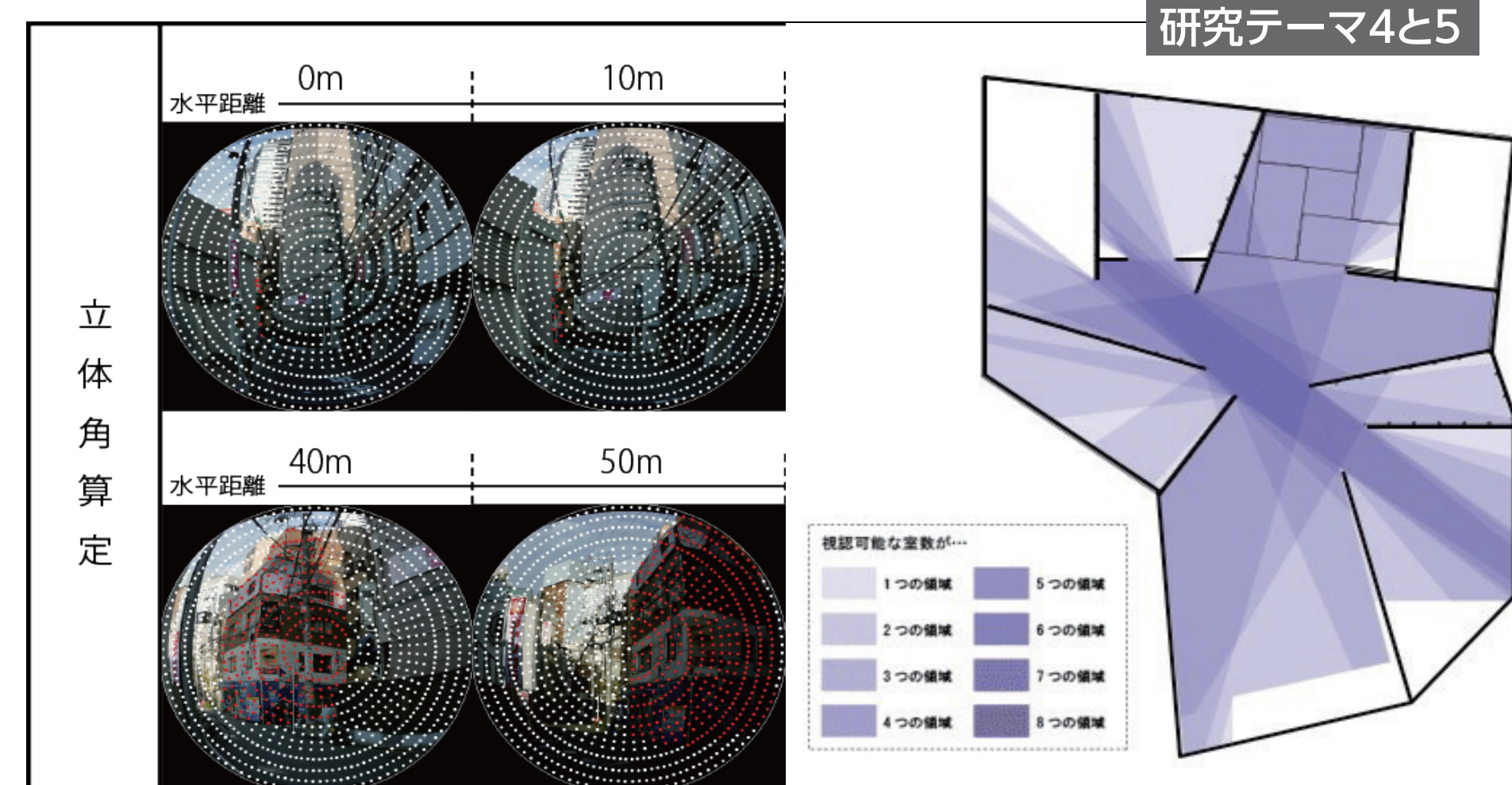
研究テーマ3

### 研究テーマ3

都市の更新・縮退により物的環境がゆらぐ中、真に継承し発展するべき価値とは何かを発見するために、国内外の集落・都市・被災地を訪れ、徹底的なフィールドワークを行い、現地の学生や住民とともに将来像を議論する。社会、空間、地形、生態、生業、計画・まちづくりの理念など、あるゆるレイヤーに刻まれた構造を読み解き、建築と都市・集落のスケールから将来を構想する。

#### ■スタッフ

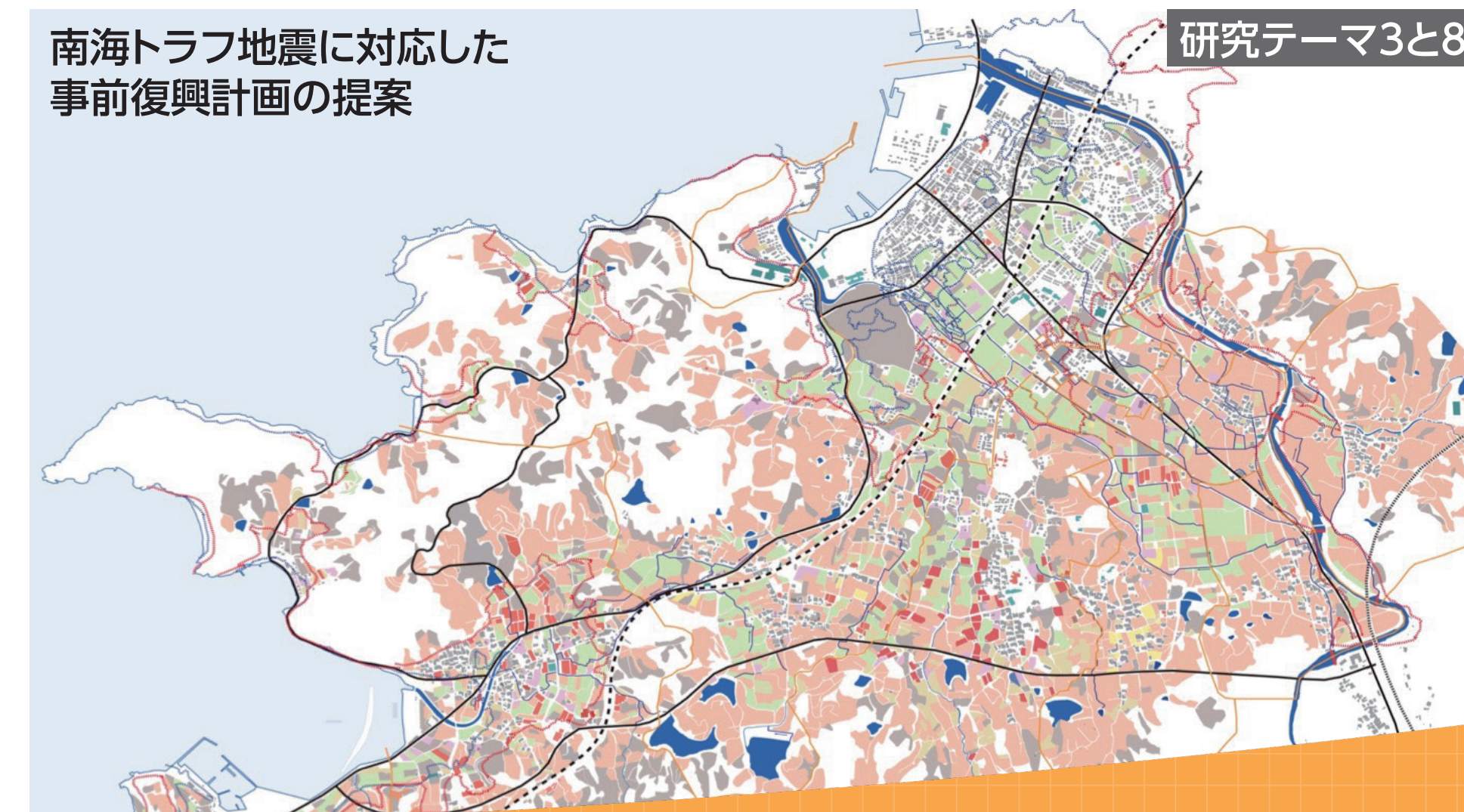
- 木多 道宏 教授 TEL:06-6879-7639  
E-mail:kita@arch.eng.osaka-u.ac.jp
- 松原 茂樹 准教授 TEL:06-6879-7640  
E-mail:shigeki@arch.eng.osaka-u.ac.jp
- 下田 元毅 助教 TEL:06-6879-7642  
E-mail:shimoda@arch.eng.osaka-u.ac.jp



生態幾何学による都市と建築のデザイン

### 研究テーマ

1. 建築・都市の計画・デザイン理論に関する研究
2. 建築・都市の環境行動論に関する研究
3. 欧州、アジア、日本の建築・集落・都市における地域コンテキストの解釈と、再生・発展のデザインに関する研究
4. 建築家による空間デザイン手法・都市空間の構築手法の研究
5. 建築・都市デザインにおける生態幾何学の研究
6. ニュータウンの生活環境のアーカイブと再構築に関する研究
7. 高齢者・障がい児者・子どもの生活環境デザインの研究
8. 計画学、環境工学、構造工学、土木工学を横断する、縮退に対応した新建築・インフラストラクチャーの提案



南海トラフ地震に対応した事前復興計画の提案

研究テーマ3と8